

あなたの会社・工場・組織で直ぐに実践可能！！

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

Zoom セミナー!!	生産性・ウェルビーイングを向上させる ストレスチェック集団分析による改善成功企業の5つのポイント
LIVE配信のみ (録画配信無し)	

- ◆日時：2024年8月9日(金) 13:30~16:30
- ◆会場：WEB受講のみ (Zoomシステム)
※LIVE配信のみ (録画視聴ありません)
- ◆受講料：(消費税等込) 1名:33,000円
同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:27,500円
- ◆受講資料：製本テキスト(受講料に含)
※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円 (内税)

集団・個人のメンタルヘルスマネジメント管理技法、最新のストレス関連知識・活用、新しい問題解決技法、発揮すべきリーダーシップの要諦、メンタルヘルス訴訟リスクの低減法について、超実践的に分かりやすく解説する特別セミナー!! 貴社のマネジメント・管理にも直ぐに活用可能です!

【講師の言葉】

私はベーパー教授ではありません。50年メンタルヘルスの専門家として学術研究を大事にしつつ一環として現場重視で仕事をしてきました。論文に理論があっても現場は変数が多く、必ずしも理論通りにいかないことが多いのです。

ましてやメンタルヘルスは、働く人々の感情的要素が入りますので「複雑系課題」となります。「複雑系課題」解決技法としては「シンプル系課題分析」をして紐解いていくことになります。

誰でもわかりやすくマネジメントできるようにするためには徹底した数量化、可視化を行い操作化できるようにしなければなりません。その方法を提供します。なお、弊社の職場診断はメンタルヘルスシステム特許申請済です。

【受講形式】 WEB受講のみ ※WEB受講の場合Live配信のみ (録画視聴はありません)
※セミナーでは、双方向のコミュニケーションがありますのでWEBマイクをご準備してください。

【受講対象】 業種：製造業、IT企業、金融、サービス業など
所属部署：経営企画、人事労務、研究開発、品質管理、製造技術、技術営業 など
レベル：経営トップ、経営層、工場長、プロジェクトリーダー、上級幹部管理職層、次世代リーダー など

【予備知識】 特に予備知識は必要ありません。

- 【習得知識】**
- 1) 集団・個人のメンタルヘルスマネジメント管理技法
 - 2) 最新ストレスの知識と活用
 - 3) 新しい問題解決技法
 - 4) 発揮すべきリーダーシップの要諦
 - 5) メンタルヘルス訴訟リスクの低減法 など

◆セミナーお申込要領

- 申し込み方法
 - ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
 - ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
 - ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
 - ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

- お支払い方法
 - 受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
 - 振り込み手数料は御社の御負担にてお願いします。

●申込先 

〒108-0014 東京都港区芝4-5-1 11-5F
TEL: 03-6435-1138
FAX: 03-6435-3685
E-mail: th@thplan.com

TH企画

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<https://www.thplan.com/>

◆ プログラム ◆

【講師】 株式会社総合心理教育研究所 代表取締役 佐藤 隆 先生

グロービス経営大学院特別教授、臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士
元 東海大学教授

はじめに

急速に変化する「ハイパーチェンジ」時代に成果の出るメンタルヘルスをご提案します。

1: ストレスチェックの解決できる課題

「ストレスチェックが形骸化しメンタルヘルスの効果に結びついていない、退職率が低下しない等」の課題に直面している企業が多く見受けられます。メンタルヘルス専門機関として先陣を切ってきた総合心理教育研究所がこの課題解決のために実践してきた成功事例をご紹介します。

2: 多くの企業で実施されている方法と

成功企業で実施している方法の違い、

課題解決のために必要な要素とは何か?

これまで成果を上げている企業に共通して見られるストレスチェックについて考察しましょう。

- ・多くの企業で共通している点
- ・成功企業のみで共通している点
- ・成功企業はどこが違うのか?それはどうしてか?

3: ストレスチェックの種類

日本で使用されているストレスチェックは基本的に厚生労働省が推奨する「57項目版」もしくは「80項目版」です。多くの企業はこれにある一定の項目を付加して使用しているところが多いです。

ご使用のストレスチェックの種類にかかわらず大事なことは、働く人の特徴や悩みについて良く把握して理解できるようなストレスチェックになっているかどうかです。

ストレスチェックの正式名称は「働く人の心理的負担の程度を把握する検査」です。つまり「心理的負担」をしっかり考察できる心理学の専門家によるサポートがなされているかが重要です。さらに、目的は経営改善を可能にするサポート設計が仕組化されているか、それらを推進するリーダーシップ強化や生産性の向上がされているかがポイントです。

4: それでは表題にありますようにストレスチェックというツールを使用して改善成果を上げるためにはどのようにすればいいでしょうか。

成功企業5つのポイントを紹介します。

- ・ストレスチェック集団分析
- ・研修(ラインケア+セルフケア)
- ・カウンセリング、コンサルティング
- ・生産性、ワーク・エンゲイジメントの向上、離職率の低下
- ・メンタルヘルス訴訟リスクの減少

5: 使用しているチェックシートサンプル

A: 組織報告 (57項目組織報告・THQ組織報告)

B: 職場診断 (57項目職場診断・THQ職場診断)

6: 数量化・可視化・操作化によって個々のリスクが未然防止になる

- ・職務満足度、ワーク・エンゲイジメント、心理的安全性の把握
- ・高ストレス者の把握、環境要因、支援要因を含まないメンタルヘルス不調者の把握
- ・「やる気ある職場作りのための職場改善点のマネジメント」
- ・「過重労働・職場での孤立、人間関係の悪化」を未然防止する
- ・メンタルヘルスにとって必要な「リーダーシップ」を作る

7: ハイパーチェンジの時代に適合する「新しい問題解決技法」の紹介

8: 経営トップ、経営層、工場長、プロジェクトリーダー、上級幹部管理職層等々が役に立つように企業

全体職場を俯瞰して「強み・弱み」を把握でき改善に結びつける職場診断の紹介

質疑・応答

●申込書・2024年8月9日(金)「生産性・ウェルビーイングを向上させる
ストレスチェック集団分析による改善成功企業の5つのポイント」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振り込み 予定		通信欄